

平成 22 年度特別調査（案）

○ 平成 22 年度の特別調査は以下のような内容について実施する。

1. DPC 制度導入影響の評価

(1) 診療内容の変化

番号	指標	評価の視点	備考
3-1-1	再入院率・再転棟率 及びその理由（目的）	○包括評価導入により診療の質が低下していないか。 ○再入院の増加理由について、同一疾患や続発症による場合と化学療法等の目的の場合等、再入院の理由（目的）を更に評価。	調査票については今後、更に検討

※ これまで指摘された施設特性に応じた再入院率の分析等は平成 21 年度追加分析で実施する新たな施設類型（診調組 D-2）の適用により対応。

(2) 診療プロセス・診療体制の変化

番号	指標	評価の視点	備考
3-1-2	外来における化学療法、放射線療法、短期滞在手術の実施状況（入院実施と合わせた分析・集計）	○再入院による化学療法・放射線療法が、外来での実施を抑制していないか。 ○化学療法・放射線療法・短期滞在手術の入院での実施と外来での実施について、地域や施設特性による違いはないか。	

2. 機能評価係数Ⅱを含めた診療報酬評価の在り方に関する調査

○ これらについては、今後の中医協（基本問題小委員会及びDPC評価分科会）での検討結果を踏まえ、改めて実施する。

(1) 機能評価係数Ⅱ

番号	調査項目	調査の視点
3-2-1	機能評価係数Ⅱ（6項目）に関する調査	○機能評価係数Ⅱ（6項目）の評価は妥当か（例：外来救急医療機能も含めた医療機関の救急医療機能の評価など）。 ○機能評価係数Ⅱの導入による行動変容等の影響は適切か。
3-2-2	今後更に導入を検討すべき事項に関する調査	（通常調査で得られないデータがあれば必要に応じて今後調査。）

(2) 算定ルールの妥当性に関する調査

番号	調査項目	評価の視点
3-2-3	診断群分類の妥当性	○現行の診断群分類の設定は妥当か。
3-2-4	包括範囲の妥当性	○包括範囲の設定は妥当か（特に高額薬剤の取扱い）。